

## 検査の中止及び検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。  
この度、下記検査項目におきまして、検査内容の中止及び検査内容の変更をさせていただきますので、ご案内申し上げます。  
何卒ご了解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■ 検査受託中止項目

最終受付日 2026年7月2日(木) ご依頼分まで

コード	検査項目	代替え項目	中止理由
3637	尿中FDP	なし	受託数僅少のため

#### ■ 検査内容変更項目

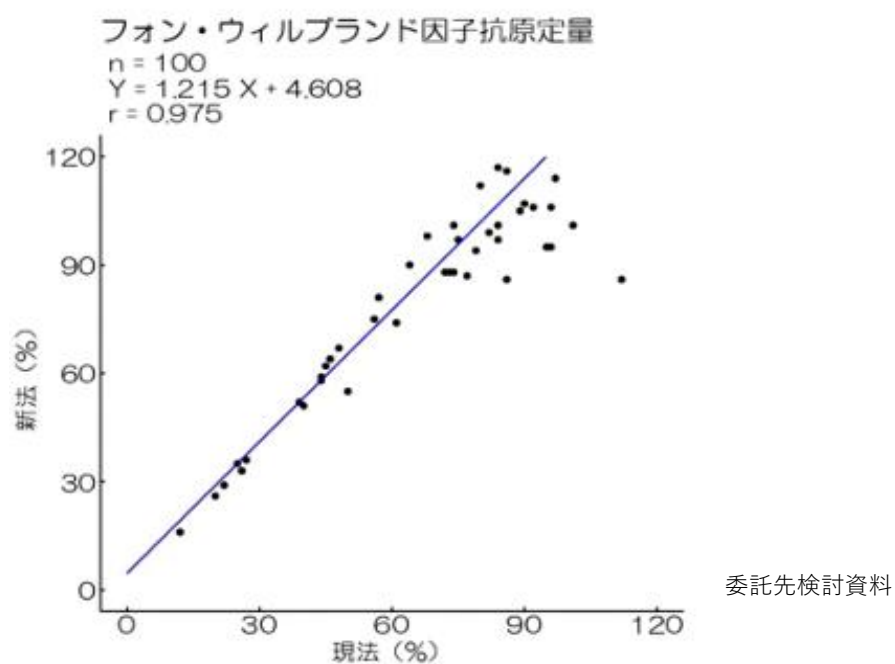
変更日 2026年7月3日(金) ご依頼分より

● フォン・ウィルブランド因子抗原定量	● $\alpha_2$ -マクログロブリン
● フォン・ウィルブランド因子活性 (リストセチンコファクター)	● 副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)
● 腓骨カルシウム	

■ 変更内容

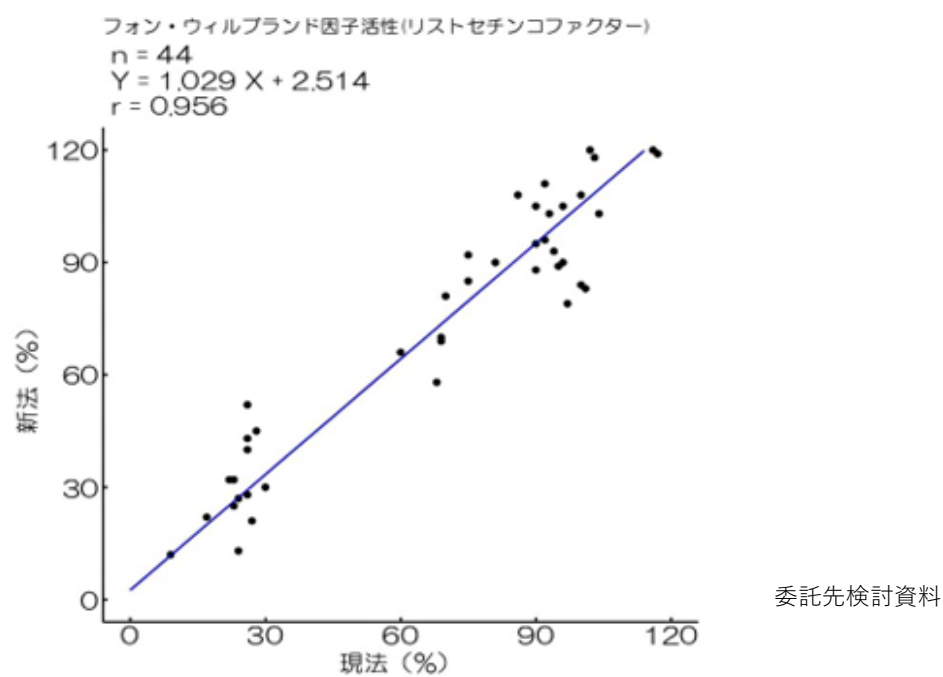
コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
3668	フォン・ウィルブラント因子抗原定量	コード	1080	3668	測定試薬変更に伴う、コード、検査方法、基準値、報告範囲の変更
		検査方法	ラテックス免疫比濁法	ラテックス凝集反応	
		基準値(単位)	非O型：66～176 O型：42～141 (%)	50～155 (%)	
		報告範囲	9未満、9～999、1000以上	5以下、6～99900000	
3669	フォン・ウィルブラント因子活性(リストセチンコファクター)	コード	1081	3669	測定試薬変更に伴う、コード、検査方法、基準値、報告範囲の変更
		検査方法	ラテックス免疫比濁法	固定血小板凝集法	
		基準値(単位)	非O型：61～240 O型：48～202 (%)	60～170 (%)	
		報告範囲	7未満、7～480、481以上	6以下、7～99900000	
0770	隣グルカゴン	コード	1082	0770	測定試薬変更に伴う、コード、基準値、報告範囲、報告桁数、備考欄の変更
		基準値(単位)	空腹時 8.8～45.2 (pg/mL)	空腹時 5.4～55.0 (pg/mL)	
		報告範囲	3.0未満、3.0～1990、2000以上	3.5未満、3.5～999999.9	
		報告桁数	有効3桁、整数6桁、小数1桁	有効7桁、整数6桁、小数1桁	
		備考欄	アプロチニン入り容器(容器番号B6)に採血後、直ちに十分混和し、冷却遠心分離後に血漿を別容器に移し、凍結保存の上、ご提出下さい。 <u>他項目との重複依頼は避けてください。溶血でのご依頼は避けて下さい。</u>	アプロチニン入り容器(容器番号B6)に採血後、直ちに十分混和し、冷却遠心分離後に血漿を別容器に移し、凍結保存の上、ご提出ください。	
3684	α <sub>2</sub> -マクログロブリン	所要日数(日)	2～5	2～4	所要日数の変更
0746	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	検体量	0.5mL	0.4mL	外注委託先変更に伴う、検体量、基準値、備考欄の変更
		基準値(単位)	午前7時～10時 7.2～63.3 (pg/mL)	早朝安静時 7.2～63.3 (pg/mL)	
		外部委託先	エスアールエル	保健科学研究所	
		備考欄	ACTHはEDTA濃度増加により測定値が低下するため、容器の指定容量を採取して下さい。 採血後、速やかに血漿分離して下さい。溶血検体は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けて下さい。	溶血検体は低値を示す場合があります。	

## ■ 相関図



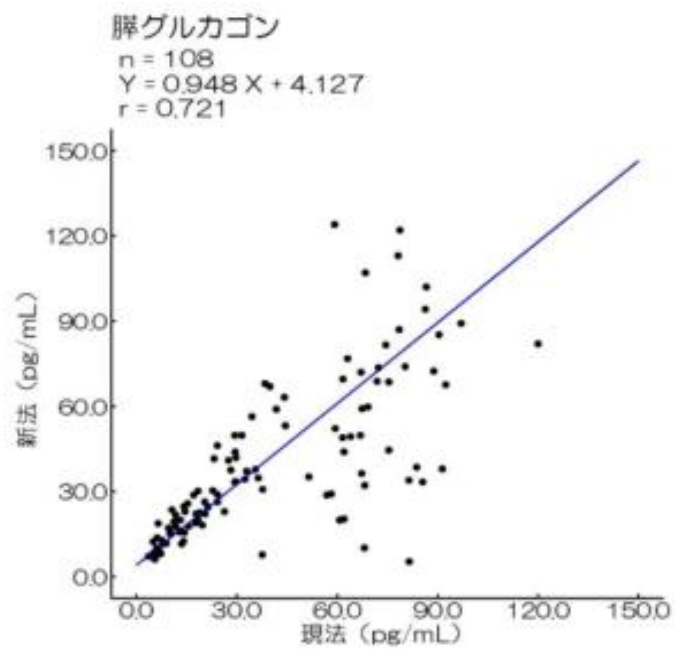
### ● 参考文献

測定法 : Stufano F. et al : Haemophilia 20 (1) : 147~153, 2014.



### ● 参考文献

測定法 : Stufano F. et al : Haemophilia 20 (1) : 147~153, 2014.



委託先検討資料

●参考文献

測定法：北村 忠弘、他：医学と薬学82（4）：229～239、2025.